

製品名: EMAP II ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe01945**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB
反応性	人間、ネズミ
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.64mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000
分子量	Calculated MW: 34 kDa; Observed MW: 34 kDa

抗原情報

遺伝子名	AIMP1
別名	p43; HLD3; EMAP2; SCYE1; EMAPII; AIMP1
遺伝子 ID	9255
SwissProt ID	Q12904
免疫原	ヒト EMAP II の合成ペプチド

背景

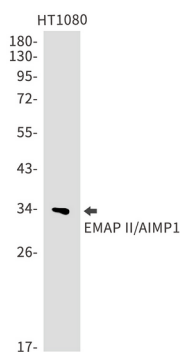
マルチシクターゼ複合体の非触媒成分。細胞質アルギニル tRNA シクターゼの触媒活性を刺激する。tRNA に結合し、炎症性サイトカ

イン活性を有する。SMURF2 に結合し、SMAD7 を介した分解を阻害することで、SMURF2 を安定化し、TGF- β シグナル伝達を負に制御する。低血糖値でのグルカゴン分泌誘導を介して、グルコース恒常性維持に関与する。皮膚線維芽細胞の増殖と創傷修復を促進する。小胞体における HSP90B1/gp96 の KDEL1 を介した保持を制御する。低濃度では内皮細胞遊走を、高濃度では内皮細胞のアポトーシスを誘導することにより、血管新生に関与する。樹状細胞の成熟と単球細胞接着を誘導する。PSMA7 との相互作用を通じて HIF-1A を分解することにより、内皮細胞の応答を調節します。

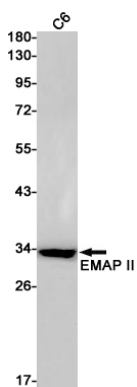
研究分野

細胞生物学

画像データ



EMAP II 抗体を使用した HT-1080 溶解物中の EMAP II/AIMP1 のウェスタン ブロット分析。



EMAP II 抗体を使用した C6 溶解物中の EMAP II のウェスタン ブロット分析。